

Ⅲ インフォームドコンセントについておたずねします

質問.1 インフォームドコンセントという言葉をごぞんじでしたか？(一つだけ選んでください)

- ・ 知っていた
- ・ 聞いたことがある
- ・ はじめて聞いた

質問.2 医師から医療や試験の説明を受ける際、説明同意文書やパンフレットなどを渡されたことはありますか？(一つだけ選んでください)

- ・ ある 【→質問3へ】
- ・ ない(覚えていない) 【→質問4へ】

質問.3 説明同意文書やパンフレットなどの資料を渡されたことがある方へ
その資料は、説明を理解するのに役立ちましたか？(一つだけ選んでください)

- ・ 役に立った
- ・ 役に立たなかった

質問.4 説明同意文書やパンフレットなどの資料を渡されたことがない方(覚えていない方)へ
説明を受ける際、資料などは必要だと思いますか？(一つだけ選んでください)

- ・ 必要だ
- ・ 必要ない

質問.5 説明同意文書やパンフレットなどの資料を渡された場合、
どのくらいの分量読んでみようと思いますか？(一つだけ選んでください)

- ・ 1ページ以内(1000 字以内、図や絵も含む)
- ・ 2～3ページ(2000～3000 字程度、図や絵も含む)
- ・ 4～5ページ(4000～5000 字程度、図や絵も含む)
- ・ 5～6ページ(5000～6000 字程度、図や絵も含む)
- ・ 6～7ページ(6000～7000 字程度、図や絵も含む)
- ・ 7ページ以上(7000 字以上、図や絵も含む)
- ・ その他()

質問.6 このシンポジウムに参加して、新たにわかったことはどれですか？(複数回答可)

- ・ すでに知っていることばかりで、新しい知識は得られなかった。
- ・ インフォームドコンセントは、意思決定のためのプロセスであること。
- ・ インフォームドコンセントには、患者側の自発性が必要であること。
- ・ インフォームドコンセントは、必ずしもがんを告知することではないこと。
- ・ 手術や臨床試験では、インフォームドコンセントが必須であること。
- ・ その他()

裏に続く

Ⅳ 本シンポジウムを通じて感じたこと、疑問に思ったこと、期待や提案など、

ご自由にごいけんをお願いします。

アンケートは以上です。

このアンケートを出口の回収箱に入れていただけるようお願いします。

ご協力、ありがとうございます。

連絡先

京都大学医学部附属病院
探索医療センター探索医療臨床部
電話：075-751-4743
075-751-4739

『ここが知りたい医療倫理とインフォームドコンセント 2007』

アンケート集計報告

●概要

平成19年10月14日（日）、ハートピア京都 京都府立総合社会福祉会館にて、市民を対象とした『ここが知りたい医療倫理とインフォームドコンセント2007』が開催された。本シンポジウムでは、インフォームドコンセントについて、がん化学療法の専門医と医療裁判を専門とする弁護士による講演をおこなった。そして、参加者を交えパネルディスカッションをおこない、その場でアンケートを実施し回収した。このアンケートは、本シンポジウムの運営の参考資料とするため、また、参加者の意見を広く聞き入れるきっかけとするために作成された。

参加者54名のうち52名よりアンケートが回収された（回収率93.1%）。本アンケートでは、Ⅰ 回答者の属性について、Ⅱ シンポジウムについて、Ⅲ インフォームドコンセントについて、Ⅳ 自由記載、これら4つの事項について参加者の意見を集めた。

Ⅰ シンポジウム全般について、本シンポジウムの内容に一定の満足が得られ、開催日時や場所等に関する要望は見当たらなかった。Ⅱ インフォームドコンセントについて、回答者の多くは、この言葉への認識があり、インフォームドコンセントに対し一定の理解があり、そして、より詳しい説明を求める傾向にあった。Ⅲ 臨床試験について、実際に臨床試験に参加した経験を有するとした回答は2件存在した。臨床試験に参加経験のないとした回答39件のうち半数以上は、臨床試験に関心があるが安全性に不安であると答えていた。Ⅳ 自由コメントでは、回答によって様々な内容が記されていた。もっとたくさん聞きたかったといった意欲的な意見が目立ったが、中には本シンポジウムの運営に厳しい意見もあった。

本シンポジウムの参加者のほとんどは医療に対する意識が高く、かしこく医療を受けるために参加していた。本アンケートは、参加者からの意見を効率的に汲み取るツールとして作成されたが、再考の余地は多く残る。今後のさらなる改善が期待される。

●方法と結果

『ここが知りたい医療倫理とインフォームドコンセント2007』にて、参加者54名を対象にアンケート用紙を配布した。質問内容と回答結果は以下の通りであった（回答数52、回収率93.1%）。

I 回答者の属性

あなたの年齢 と あなたの性別

		あなたの性別は？			合計
		女性	男性	無回答	女性
あなたの年齢は？	30～39歳	1	2	0	3
	40～49歳	5	2	1	8
	50～59歳	9	4	2	15
	60～69歳	9	0	1	10
	70～79歳	7	5	4	16
	無回答	0	0	2	2
合計		31	13	10	54

II シンポジウムについて

開始時間はいかがでしたか？

		回答数	回答%	有効%
有効	やや早い	1	1.9	1.9
	ちょうど良い	44	81.5	81.5
	やや遅い	8	14.8	14.8
	無回答	1	1.9	1.9
	合計	54	100.0	100.0

講演の長さはいかがでしたか？

		回答数	回答%	有効%
有効	やや長い	3	5.6	5.6
	ちょうど良い	36	66.7	66.7
	やや短い	2	3.7	3.7
	短い	1	1.9	1.9
	無回答	12	22.2	22.2
	合計	54	100.0	100.0

講演のわかりやすさは？

		回答数	回答%	有効%
--	--	-----	-----	-----

有効	非常に良い	13	24.1	24.1
	良い	20	37.0	37.0
	まあまあ	8	14.8	14.8
	無回答	13	24.1	24.1
	合計	54	100.0	100.0

シンポジウム全体の満足度は？

		回答数	回答%	有効%
有効	非常に満足	9	16.7	16.7
	満足	22	40.7	40.7
	まあまあ	9	16.7	16.7
	無回答	14	25.9	25.9
	合計	54	100.0	100.0

シンポジウムを知ったきっかけは？

		回答数	回答%	有効%
有効	リビング京都にて	7	13.0	13.0
	1,5	3	5.6	5.6
	京都新聞にて	18	33.3	33.3
	2,3	1	1.9	1.9
	知人・友人より	4	7.4	7.4
	掲示・ポスターにて	2	3.7	3.7
	探索医療センターか らの案内葉書にて	19	35.2	35.2
	合計	54	100.0	100.0

シンポジウムに参加された理由は？

		回答数	回答%	有効%
有効	がん医療に関心がある	12	22.2	23.5
	医療裁判関心がある	2	3.7	3.9
	医療への不信感がある	4	7.4	7.8
	かしこく医療を受けたい	31	57.4	60.8
	医療に関する相談をしたい	1	1.9	2.0
	その他	1	1.9	2.0
	合計	51	94.4	100.0
無効		3	5.6	
合計		54	100.0	

シンポジウムで扱って欲しかったテーマは？

	回答数	回答%	有効%
有効 なし	43	79.6	79.6
あり	11	20.4	20.4
合計	54	100.0	100.0

ICという言葉をご存知でしたか？

	回答数	回答%	有効%
有効 知っていた	44	81.5	81.5
聞いたことがある	5	9.3	9.3
はじめて聞いた	5	9.3	9.3
合計	54	100.0	100.0

説明文書などを渡された経験は？

	回答数	回答%	有効%
有効 ある	24	44.4	44.4
ない・覚えていない	29	53.7	53.7
無回答	1	1.9	1.9
合計	54	100.0	100.0

説明文書などは役立ちましたか？

	回答数	回答%	有効%
有効 役に立った	22	40.7	91.7
役に立たなかった	1	1.9	4.2
無回答	1	1.9	4.2
合計	24	44.4	100.0
欠損 99	24	44.4	
999	6	11.1	
合計	30	55.6	
合計	54	100.0	

説明文書などは必要ですか？

	回答数	回答%	有効%
有効 必要だ	29	53.7	100.0
欠損 99	18	33.3	

999	7	13.0
合計	25	46.3
合計	54	100.0

シンポジウムを通じて感じたことなど、ご自由にご意見をお願いします

	回答数	回答%	有効%
有効 コメントなし	29	53.7	53.7
コメントあり	25	46.3	46.3
合計	54	100.0	100.0

シンポジウムに参加して変わったことはありますか？

	回答数	回答%	有効%
有効 1,3	1	1.9	1.9
インフォームドコンセントは、意思決定のためのプロセスであること。	3	5.6	5.7
2,3	5	9.3	9.4
2,3,4,5	2	3.7	3.8
2,3,4,5,	1	1.9	1.9
2,3,5	3	5.6	5.7
2,5	6	11.1	11.3
インフォームドコンセントには、患者側の自発性が必要であること。	11	20.4	20.8
3,5	4	7.4	7.5
3,6	1	1.9	1.9
手術や臨床試験では、インフォームドコンセントが必須であること。	5	9.3	9.4
5,6	1	1.9	1.9
その他	2	3.7	3.8
無回答	8	14.8	15.1
合計	53	98.1	100.0
欠損 999	1	1.9	
値			
合計	54	100.0	

どのくらいの分量だったら説明文書などを読んでみようと思いますか？ と 説明文書などは必要ですか？

	説明文書などは 必要ですか？
	必要だ
1ページ以内(1000字以内、図や絵も含む)	4
2～3ページ(2000～3000字以内、図や絵も含む)	8
4～5ページ(4000～5000字以内、図や絵も含む)	6
5～6ページ(5000～6000字以内、図や絵も含む)	3
6～7ページ(6000～7000字以内、図や絵も含む)	1
7ページ以上(7000～字以内、図や絵も含む)	1
その他	3
無回答	3
合計	29

Ⅱ．研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
河合隼雄、 鍾幹八郎、 <u>伊藤良子</u>	臨床心理面接を考 える	伊藤良子	現代のエスプ リ別冊：臨床 心理面接研究 セミナー	至文堂	東京都	2006	9-32

雑誌 (英文原著)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akamizu T, <u>Murayama T</u> , Teramukai S, Miura K, <u>Bando</u> <u>I</u> , IrakoT, Iwakura H, Ariyasu H, Hosoda H, Tada H, <u>Matsuyama A</u> , Kojima S, Wada T, Wakatsuki Y, Matsubayashi K, Kawakita T, <u>Shimizu A</u> , Fukushima M, <u>Yokode M</u> , Kangawa K.	Plasma ghrelin levels in healthy elderly volunteers: the levels of acylated ghrelin in elderly females correlate positively with serum IGF-1 levels and bowel movement frequency and negatively with systolic blood pressure.	J Endocrinol	188	333-344	2005
Fujita M, Akabayashi A, Slingsby BT, <u>Kosugi S</u> , Fujimoto Y, Tanaka K.	A model of donors' decision-making in adult-to-adult living donor liver transplantation in Japan: having no choice.	Liver Transpl	12	768-774	2006
<u>Teramukai S</u> , Nishiyama H, Matsui Y, Ogawa O, Fukushima M.	Evaluation for surrogacy of endpoints by using data from observational studies: tumor down-staging for evaluating neoadjuvant chemotherapy in invasive bladder cancer.	Clin Cancer Res	12	139-143	2006

Teramoto T, Sasaki J, Ueshima H, Egusa G, Kinoshita M, Shimamoto K, Daida H, Biro S, Hirobe K, Funahashi T, Yokote K, <u>Yokode M.</u>	Goals of dyslipidemia management. Executive summary of Japan Atherosclerosis Society (JAS) guideline for diagnosis and prevention of atherosclerotic cardiovascular diseases for Japanese.	J Atheroscler Thromb	14	209-212	2007
Zohar S, <u>Teramukai S,</u> Zhou Y	Bayesian design and conduct of phase II single-arm clinical trials with binary outcomes: A tutorial.	Contemporary Clinical Trials in press			2007
Ohinishi K, Hayama Y, <u>Kosugi S</u>	An analysis of patient rights violations in psychiatric hospitals in Japan after the enhancement of the Mental Health Act 1987.	Issues in Mental Health Nursing in press			2007

雑誌(日本語原著)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>横出正之</u>	医療開発に向けての戦略	The Lipid	16	107	2005
<u>坂東委久代</u>	被験者の権利擁護が確立されるために… ～臨床研究コーディネーターの立場から～	心理学ワールド	36	13-16	2007
<u>清水章</u>	探索医療(Translational Research)としての開発型医師主導治験に向けた体制整備	臨床評価	33	37-41	2005
<u>村山敏典</u>	自主臨床試験と医師主導治験	医学のあゆみ	221	992-994	2007